

地方創生関連交付金等事業評価シート

資料5-1

事業名	住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業		事業期間	平成 28 年度 ~ 30 年度					
			所管課	福祉総務課					
交付金事業の概要	<p>○高齢者等を対象に日常生活で起こるちょっとした困りごとを支援・解決する「地域住民どうしの助けあいの活動」を促進・支援する。</p> <p>○人口が減少している市南部地域(南横山)をモデル地区にして地域と病院やスーパーマーケット、鉄道駅を結ぶデマンド型交通(乗合タクシー)の実証運行を行う。</p>								
事業の背景及び目的	<p>○本市は、過去に人口増加率が府内でも1位、2位を争うなど、和泉中央駅周辺を中心にベッドタウンとして人口増加を続けてきたが、昭和40年代に開発されたニュータウン等では高齢化が進み、独居世帯や空き家等が増加し、地域の絆が薄れつつある。</p> <p>○また、市南部地域では、通勤、通学の時間帯にバスを運行し、公共交通を維持しているものの、交通網は脆弱であり、人口減少が続いている。</p> <p>○これらのことから、地域住民が支えあいながら生活を送ることができる環境を整え、多世代が交流する機会の創出を図るとともに、デマンド型交通による乗合輸送の実証運行を実施するなど、住み慣れた地域で持続的に安心して暮らすことができるコミュニティの形成を目指す。</p>								
予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	報償費	300,000	委託料	556,000		報償費	299,820	委託料	0
	消耗品費	65,000	会場使用料	60,000		消耗品費	62,208	会場使用料	59,700
	食糧費	8,000	複写機借上料	7,000		食糧費	4,425	複写機借上料	6,241
	印刷製本費	49,000	補助金	5,355,000		印刷製本費	33,588	補助金	837,356
	計		6,400,000			計		1,303,338	
取組①名称 : 「地域住民どうしの助けあいの活動」の支援									
取組の内容	<p>○「地域住民どうしの助けあいの活動」を実施する団体の活動経費に対して補助金を交付し、支援した。</p> <p>(補助対象経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務所賃借料 ・事務所改装費 ・活動用備品等 ・周知用の印刷費等 <p>※補助は、各団体1回限り</p>			取組の意図・目的	<p>○団体の活動に要する経費の一部を補助し、団体の設立や新たな活動を支援する。</p>				
				取組の実績・成果	<p>○2団体に対して、補助金を交付した。</p> <p>【補助金交付団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート緑ヶ丘営繕グループ ・鶴山台北校区高齢者サポートセンター <p>【補助内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動用備品等…823,316円 ・周知用の印刷費等…14,040円 				
取組②名称 : フォーラム及び研修の開催									
取組の内容	<p>○平成30年度から新たに活動を実施する地域団体を募集するため、「みんなで取り組む地域づくりフォーラム」を開催した。(開催日)平成29年10月1日(参加者数)78名</p>			取組の意図・目的	<p>○フォーラムを開催し、市全域に活動団体の取組と当事業の周知を図る。</p> <p>○研修を開催し、新たな人材の確保、育成及び団体間の連携強化を図る。</p>				
	<p>○活動団体を対象に人材育成のための研修を実施した。(開催日)平成30年3月26日(参加者数)22名(研修内容)他団体の先進的な取組の紹介</p>			取組の実績・成果	<p>○フォーラムの開催により、当事業の周知がなされ、新団体が平成30年3月に発足した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規団体:光明台南校区 <p>○研修で、利用者ニーズが高い移送サービスを提供している団体を招き、取組について講義いただいたことで、団体が移送サービスを検討するきっかけをつかった。</p>				
取組③名称 : 協議会の開催									
取組の内容	<p>○「みんなで取組む地域づくり協議会」を開催し、新たな地域団体の募集方法や研修内容について、検討した。(開催回数)3回</p>			取組の意図・目的	<p>○新たに活動する地域団体の設立を目指し、地域団体等へ働きかけを行う。</p>				
	<p>○和泉市社会福祉協議会と協働で進めている地域住民同士が地域の課題について協議・検討する会議の「協議の場」を活用した啓発を実施した。</p>			取組の実績・成果	<p>○「協議の場」を通じて、新たな団体立ち上げのアプローチを行い、新たに1つの団体が平成30年3月から活動を開始した。但し、本事業の補助金を活用する予定はなし。</p>				

平成29年度の取組

KPI (重要業績評価指標)	交付金対象事業	KPI① : サービス利用者数			
		現状値 (平成27年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成30年度)
		94	277	283	357
		KPI② : 高齢者雇用者数			
		現状値 (平成27年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成30年度)
		23	72	81	97
		KPI③ : 提供サービス数			
		現状値 (平成27年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成30年度)
		8	36	29	61
	総合戦略における位置付け		基本目標 町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合 数値目標 H25 42.3% ⇒ H31 50.0%		
所管課の評価	平成29年度における取組の効果	評価 B 効果的だった	評価理由 ○団体が補助を活用してチラシを作成するなど、事業周知が充実し、サポーター数の増加や団体の活性化につながった。 ○研修で、移送サービスについて紹介したことで、市内の活動団体においても移送サービスの実施について、検討され始めた。また、団体同士の横の繋がりを強化することができた。 ○新規団体の募集に向け、町会連合会、校区社会福祉協議会といった関係機関に対し周知を行ったほか、各小学校区に設置されている協議の場においても新規団体募集の周知を行った。結果として、本事業の補助を活用していないものの、新たに事業を実施する団体が平成30年3月に発足した。		
	目標値達成状況にかける要因分析	達成状況 3 未達成	要因分析 ○各団体の活動が地域で認知され定着してきたことにより、サービス利用者数や高齢者雇用者数の増加に繋がった。 ○提供サービス数については、目の不自由な方への代筆や留守宅の庭木・花等の水やりなど新たなニーズに対応したことにより昨年度よりは増加したものの、人材の確保や、ノウハウの蓄積が十分にできず、目標値を達成することができなかった。		
	交付金対象事業の必要性	評価 ②維持(現状)	評価理由 ○活動団体の取組みについて認知度が高まってきたことから、その取組みを他の地域にも普及させ、新たな活動団体の設立をめざす。 ○活動団体の支援のための補助制度及び人材育成のための研修を引き続き実施することが必要である。		
平成29年度の取組成果・効果を踏まえた今後の事業展開		<p>【平成30年度の事業展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たに事業を実施する団体に対し、活動に係る経費の一部を補助する。 ○人材確保・育成のための研修を活動団体に対して実施し、支援する。 ○当事業の成果として、地方創生推進交付金対象期間終了後も地域の助け合い活動を始めようとする団体が立ち上げの参考にてできる事業報告書を作成する。 <p>【平成31年度以降の事業展開】 (既存団体へのサポート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地方創生推進交付金対象期間終了後は、本補助金を廃止する予定のため、活動団体に、「和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業(ちよいず)」等の補助制度の活用を促し、活動の継続をサポートする。 (新規団体の設立) ○新規団体設立に向けた地域の自発的なきっかけを促すため、「協議の場」を通じて各地域の状況を把握した上で、周知を行う。 ○新たに団体を立ち上げようとする団体に対し、事業報告書等を用いて団体設立をサポートしていくとともに、上記補助金の案内を行う。 			